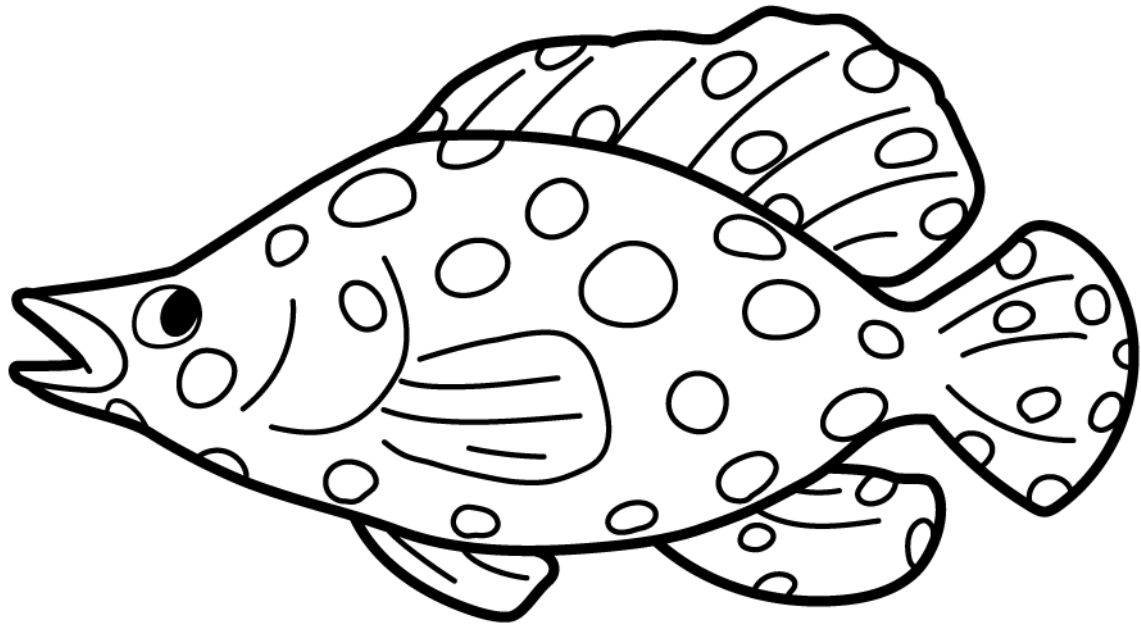


# サラサハタ

絶滅危惧IA類(CR)

# SAMPLE



たいちょう 60cmほどで口先が突出してい  
る。体色は淡い褐色で体やひれ全  
体に斑点が散在する。岩礁やサンゴ  
礁に生息し、魚や甲殻類を食べる。



# 解説 絶滅危惧種ってなに？

## 絶滅危惧種とは

- 現在の状態がもたらした要因が続くのであれば絶滅の危機にある生物のことをいいます。
- 絶滅危惧種には、世界中では40,000種以上が指定されていますが、今後も増えることが予想されます。
- 日本ではこのデータを元に環境省が国内レッドリストを作成し、2020年現在3772種が指定されています。

## レッドリストとは

- レッドリストとは、生物多様性の健全性を示す指標で、IUCN（国際自然保護連合：1964年設立）が関係国、関係機関などの国際会議によって示された一覧表です。
- 日本では環境省がIUCNの情報を元に国内のレッドリストを作成しており、「絶滅危惧I類(Critically Endangered+Endangered : CR+EN)」、「絶滅危惧IA類(Critically endangered : CR)」、「絶滅危惧IB類(Endangered : EN)」、「絶滅危惧II類 (Vulnerable : VU)」の4つが絶滅危惧種に該当します。



## 絶滅の原因

みなさんが知っている生物を例にして、生物が絶滅してしまう原因をいくつかご紹介します。

①アカウミガメの例 ※絶滅危惧種IB類 (EN)  
漁獲したい生物とは違う種の生物を思いがけず捕獲してしまう「混獲」によって、数が減ってしまいました。その他にも砂浜の減少も原因としてあげられます。



②タガメの例 ※絶滅危惧種II類 (VU)  
農薬などの水質汚染によって急激に数が減少しました。また、開発による生息地の破壊も原因のひとつとなっています。



③アベサンショウウオの例 ※絶滅危惧種IA類 (CR)  
溝の中や落ち葉の下に潜んでいます。道路の整備などによる森林伐採により、生息範囲が狭くなってしまったことが原因とされています。また、ゴミの投棄による環境汚染も原因のひとつとなっています。

